



ふじはら まさひろ
藤原 正博さん (三刀屋町給下)

藤原さんは給下周辺の田5ha、畑50aで水稲や野菜を栽培されています。一昨年飯南町で農業研修をされた後、実家の農業を継承されました。野菜は年間通じて季節野菜を栽培され、取材に伺った3月上旬はネギやホウレンソウ、高菜、インゲン、パクチーなど葉物野菜が中心です。毎日市内の産直市場へ出荷されています。水稲苗の準備やネギの栽培面積も拡大したため、これからはさらに忙しい日々が続きます。藤原さんのこだわりはおいしい米や野菜を作るための土づくりで、野菜などの状態を見ながら研究をされています。

「給下で生まれ育ってきたのでここにある農地を何とか守っていきたい」と今後の思いも力強く語られていました。



出荷される野菜

令和5年度

雲南市農業振興施策に関する 意見書回答（要旨）

昨年10月24日に農業委員会では令和5年度の雲南市農業振興施策に関する意見書を石飛市長へ提出し、この度、2月13日に意見書の回答をいただきました。その回答書の概要について、次のとおり掲載します。



2月13日 石飛市長より回答書をいただきました

1 農地等の利用の最適化の推進について

(1) 農家支援

- ① 農業者グループの機械整備などを支援する地域農業サポート支援事業の要件を見直し事業を継続する。
- ② 産直市場へ出荷している中小規模農家への支援策として産直出荷用ビニールハウスの整備支援を行う。

ている。また、栽培技術指導は島根県東部農林 振興センター・JAしまね雲南地区本部と連携して専門職員を配置しながら出荷者への助言・指導を行い、生産技術の向上を図る。

(2) 担い手農家の育成と支援

- ① 新規就農希望者へは、島根県、JAしまねおよび農業委員会などの各専門を交えたサポートチームを立ち上げて支援を行っており、専門的知見者からアドバイスを得ながら推進する。
- ② Uターン希望者へは、毎月、ふるさと島根定住財団、島根県農業部、雲南市関係課および雲南市担い手支援室の担当者が集まって定住就農連絡会を開催し、情報共有および個々の希望者への個別対応などを検討しながら支援を行っており、今後も継続して移住促進に努める。

(3) 荒廃農地対策

- ① 中山間地域等直接支払制度、多面的機能支払交付金制度に取り組みられている組織においては、交付金の活用により荒廃農地対策を実施していただきたい。

2 中山間地域における農業の継続

(1) 令和3年豪雨災害の農地、農業用施設の復旧

- ① これまで応急的な土砂撤去や仮設用水の確保を実施してきた。道路・河川の災害復旧が先行しているが建設事業者の協力を得て農地や農業用施設災害の早期復旧に努める。

(2) 鳥獣被害対策

- ① 狩猟免許取得助成や駆除活動助成により5年間で狩猟免許所持者数が91人の増となった。必要な支援については今後も猟友会などの意見を参考にして鳥獣被害防止に努める。
- ② 市内では、5、6グループのサル群れを確認している。完全な被害防止は困難であるが、今後大型檻やGPS機器を活用してサル対策を強化する。

(3) 環境にやさしい農業への取り組み

- ① 脱炭素社会の実現に向けた農業分野における取り組み強化の検討を行い、農業施策に反映したいと考

- ② 島根県の事業を活用して市ではサンショウの産地化を進めている。また、畜産では自給粗飼料の生産拡大の必要性から牧草などのさまざまな作物の生産を検討し推進する。

3 農業委員会への活動支援

- ① 本年度、タブレットを導入したが、次年度以降は農地パトロールへの活用を計画している。また、航空写真やドローンの活用などの先駆的なシステム導入の協議を進める。

(4) 畜産振興

- ① 肥育センター事業については、現在、1市2町、島根県およびJAしまねという構成で雲南農業振興協議会の内部機関として「雲南地域畜産振興検討会」を設置し、協議を行っている。繁殖、肥育、販売の地域一貫体制の堅持を基本とした検討を進めている。
- ② 今年度、非プラスチックコート肥料と非ネオニコチノイド系農薬を用いた水稲の実証栽培を実施したが、単年度の結果では判断が困難であるため、継続的な情報収集と検証を行う。また、こうした新技術による環境負荷低減の取り組みは農業に欠かせないと認識している。
- ③ 雲南市農業担い手フォローアップ事業補助金にて有機農業に取り組むための機械、施設導入に対して補助額の加算を予定している。

えている。



～令和5年度 雲南市標準農作業料金等一覧表～

雲南市標準農作業料金検討協議会において、次のとおり決定しましたのでお知らせします。

- ★この料金はあくまで標準の料金です。作業条件などにより双方協議のうえ決定してください。
- ★備考欄ならびに3. 特記事項、4. ほ場条件に記載してある事項については、それぞれの実情に応じて決めてください。
- ★ここに定めのない農作業については、双方協議のうえ行ってください。
- ★この標準農作業賃金・農作業料金は、**令和5年4月1日**から適用します。
- ★この標準農作業賃金・農作業料金は、**消費税抜き**の金額です。

雲南市標準農作業料金検討協議会

1. 農作業賃金

作業区分	種別	単位	金額(円)	備考
農作業	一般農作業	1日	8,000	

2. 農作業料金(消費税抜き)

作業区分	種別	単位	金額(円)	備考
耕起		10a	7,500	・ほ場周囲の機械作業が困難な場所の作業は委託者が行う ・通し代とは、荒代、植代を同一人が受託して行う作業である
代掻き	荒代	10a	3,340	
	植代		5,650	
	通し代		8,990	
畦塗り		1m	60	・機械作業
機械田植	一般田植機	10a	8,430	・肥料は別料金 ・枕地の手植え、欠株の補植は委託者が行う
	側条施肥型		8,900	
育苗	硬化苗	1箱	840	・種子代を含む
防除		10a	2,320	・農薬は別料金
刈取	コンバイン	10a	20,930	・籾運搬費は別途
	バインダー		10,470	
ハーベスター		10a	10,470	
乾燥	18.0%以下	30kg	380	
	18.1%～30.0%		830	
	30.1%以上		940	
籾摺り		30kg	550	
色彩選別		30kg	370	・籾摺りからの一連の作業料金

3. 特記事項

- (1)機械や育苗の運送経費は別途双方協議のうえ決定する。
- (2)田植作業やハーベスターによる脱穀作業、籾摺り作業の際、補助者が必要な場合は委託者負担とする。
- (3)コンバイン、バインダーによる刈り取り作業の際、稲の倒伏程度により1割倒伏・1割加算の基準で、またほ場の軟弱の程度により双方協議のうえ料金を加算する。
- (4)深耕、稲わらの処分など、一覧表に無いものは別途双方協議のうえ決定する。
- (5)色彩選別のみの作業の際は、別途双方協議のうえ料金を加算する。
- (6)農作業料金に影響を及ぼす事態が生じた場合は、雲南市標準農作業料金検討協議会で協議し、決定した事項については広報などで周知することとする。

4. ほ場条件

※ほ場一区画の面積が10a以上、おおむね乾田であるほ場での作業を想定して料金を算定した。
したがって、一区画10a未満のほ場、また10a以上でも不整形のほ場は、双方協議のうえ料金決定する。

農地法が一部改正されます

内容 下限面積要件の撤廃

とき 令和5年4月1日から

※令和5年3月受け付け分より適用

詳しくは農業委員会までお問い合わせください。

☎ 0854-40-1092

～雲南市賃借料情報～

《令和4年1月～12月公告分》

	地域名	平均額	最高額	最低額	筆数
田	雲南市全域	6,100円	10,200円	2,000円	298 (107)
	大東町	6,600円	10,000円	2,000円	74 (23)
	加茂町	7,000円	11,600円	2,700円	73 (49)
	木次町	3,900円	3,900円	3,900円	7 (7)
	三刀屋町	3,600円	5,800円	1,600円	21 (12)
	吉田町	6,200円	7,000円	3,000円	100 (17)
	掛合町	3,500円	5,000円	3,000円	34 (0)
畑	雲南市全域	2,600円	5,000円	1,300円	11 (0)

()内は物納数・(10a、1反あたり)



地域の農業などに関する最新情報が分かります。

毎週発行月額 700円(送料、税込み) 申し込みは 農業委員会まで。

農業委員会
研修会 令和4年度

水稲経営も、国際価格の変動により燃料や肥料価格が高騰して不安定な状態が続いています。

米の生産と消費の好循環を後押しするべく、前回の「いなたひめ」で紹介した、あそびキッチン代表佐々木久美さんに「古くて新しい食品・米粉について」と題して講演していただきました。

米粉は古くは奈良時代から文献にあり、現代も団子・笹巻き・おせんべい等多用される食材です。

食の嗜好の多様化や核家族化などの影響による食生活の変化で米離れが進み、米の消費量や1日で食べられるご飯の量も昭和40年に比べて半分以下に減少したことに驚かされました。

米粉の優れている点は、グルテンが含まれていないため小麦アレルギーのある方でも安心して食べられます。粘りがあるのでつなぎとして使えるのも、



▲講演する佐々木さん



▲米粉レシピを紹介しています。



▲米粉が使われた料理

チモチ触感を味わえることです。新たな米粉として高温で製粉したアルファ化米粉が注目されています。講演の後、女性委員による米粉を使ったおすすめの料理と遊学一粒の会（加茂町）によるアルファ化米粉をつなぎとしたそばも並び、石飛市長や市議会議員などの方々にも試食していただき雲南市の特産として広めていきたいと好評をいただきました。

さまざまな料理、食味を楽しむる米粉による米の販路消費拡大で少しでも豊かでありがいのある農業経営に取組んでいきたいです。
(神田邦昭)

空き農地バンク
登録状況

令和5年2月10日現在



登録番号	所在地	地目	面積 (㎡)
21-01	大東町下佐世	畑	496
21-02	大東町下佐世	畑	31
21-07	大東町西阿用	田	443
21-08	大東町西阿用	田	180
21-09	大東町西阿用	田	1,049
21-10	大東町西阿用	田	1,064
21-11	大東町西阿用	田	987
21-14	大東町新庄	田	364
21-15	大東町新庄	畑	329
21-16	大東町新庄	田	1,652
21-17	大東町新庄	畑	136
21-18	大東町新庄	田	2,602
22-01	大東町須賀	田	928
22-02	大東町須賀	田	659
22-03	大東町須賀	田	991
22-04	大東町須賀	田	495
22-05	大東町須賀	田	404
22-06	大東町大東	田	627
22-07	大東町大東	畑	310
22-11	大東町西阿用	田	1,345
21-06	木次町東日登	田	443
21-12	木次町新市	畑	293
21-13	木次町新市	畑	13
21-19	木次町上熊谷	田	504
21-20	木次町上熊谷	畑	84
21-21	木次町上熊谷	畑	1,235

二人が作る料理は、地元産で四季折々の旬の野菜と、こだわった出汁と塩、そして生姜などの薬味も使われ、素材を生かしたやさしい味付けになっています。身体に良いものをバランス良く食べることができるよう工夫されています。



提供される料理とスイーツ

「山猫庵」のランチは完全予約制です。詳細はInstagramの公式アカウントを確認いただくか、山猫庵まで問い合わせください。

問い合わせ先：
山猫庵 ☎ 080-5676-6516

二人が作る料理は、地元産で四季折々の旬の野菜と、こだわった出汁と塩、そして生姜などの薬味も使われ、素材を生かしたやさしい味付けになっています。身体に良いものをバランス良く食べることができるよう工夫されています。

GALLERY CAFE
山猫庵

うんなんの
うまいもん
シリーズ

農業委員会の情報委員メンバーの「ちょっとこれ！たべてみーだわ！」という商品を紹介していきます。

今回はこれ

今回のは加茂町三代のギャラリーカフェ「山猫庵」を紹介します。山猫庵店主で作家でもある着物リメイジャー、アフセサリー作家のジュンさんと陶芸作家の美田紀堂さんです。カフェでは二人の作品が迎えてられています。二人が作る料理は、地元産で四季折々の旬の野菜と、こだわった出汁と塩、そして生姜などの薬味も使われ、素材を生かしたやさしい味付けになっています。身体に良いものをバランス良く食べることができるよう工夫されています。

現在、日本の農家の総所得のうち農業収入は13%未満である。その割合は昭和50年では約30%であった。同時期以降、可処分所得はほぼ2倍へ、生活費も2倍になったことで、小規模農家では以前に比べて所得が50%増加し、一人当たりの可処分所得が2倍になり、生活基準が上昇した。乱暴だが、この変遷を市内の農家の視点で見ると、農業産出額の戸平均値は約116万円、家族2.9人と推定した場合、最低2倍から3倍の「外貨」所得が欲しいところだ。

つまり「兼業農家のさらなる勧め」である。中山間地域の人口流出に歯止めを掛けるには、上質な「外貨」を稼ぐ職場が近隣に欲しい。まだ足りていない。

(W・H)

編集後記